

【スライド1、2枚目】 開始～0分29秒

ホテル日航プリンセスの取組を御紹介します。
広報担当の喜多見と申します。よろしくお願いいたします。
本日は、こちらの2つの取組について御紹介します。

【スライド3枚目】 0分29秒～1分38秒

まず、「食品ごみの自社処理とリサイクルループ構築」についてお話をさせていただきます。
弊社では、リサイクルループの構築を行っており、リサイクルループ構築のスタートとして、平成29年に廃棄物の自社処理に挑戦すべく「生ごみ処理機」を導入し、生ごみ廃棄量の73.6%を削減しました。

しかし、導入当初は、生ごみ処理機では分解できない魚の骨、パイナップルの芯、ロブスターの殻等の硬い生ごみは、依然として業者に焼却処分を依頼していました。

そこで、平成30年より、生ごみ処理機では分解できない硬い生ごみの処理を「バイオガス発電施設」へ依頼し、「エネルギーリサイクル処理」へ変更しました。

これにより当ホテルでは、事業活動で発生する生ごみの焼却処分「ゼロ」を達成しました。

【スライド4枚目】 1分38秒～2分21秒

次に、「再生資源化からリサイクルループが完成するまでについて」です。

次のステップとして、バイオガス発電施設で生ごみからメタンガスを生成した後の「最終消化液」が優秀な農業用の液肥となることに着目した同施設では、この液肥を付近の協力農場で有機米の栽培に活用することにしました。

当ホテルでは、栽培された有機米を購入し、従業員食堂で消費しています。

これにより、リサイクルループが完成となります。

【スライド5枚目】 2分21秒～2分47秒

こちら図の通り、当ホテルからでた「食品生ごみ」が、バイオガス発電施設で「バイオマス発電」と「液肥」に変わり、その液肥を使って協力農場で「有機米」を栽培し、できたお米をまた当ホテルが消費するというリサイクルループとなっています。

【スライド6枚目】 2分47秒～3分7秒

このリサイクルループは、食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画（食品リサイクルループ）」として、2023年6月に厚生労働大臣、農林水産大臣、環境大臣の認定を取得しました。

【スライド7枚目】 3分7秒～3分16秒

続いて、地域・社会への貢献を目指した取り組みを御紹介します。

【スライド8枚目】 3分16秒～4分2秒

まず、はじめに、「食品ロス削減に関する食育教室」についてです。

次代を担う子ども達に、食の大切さや食品ロス削減を学んでもらう「食育教室」を、地元環境保護団体「豊園エコ推進委員会」と京都市立洛央小学校と連携して毎年開催しています。

この食育教室では、食品ロスに関する講話や、当ホテルのシェフが講師となって親子料理教室を開催し、食材の有効利用や、「好き嫌いせず感謝して食事をいただくこと」の大切さを学んでもらいました。

【スライド9枚目】 4分2秒～4分48秒

次に、サステナブルフーズの提供についてです。

「SDGs つくる責任 つかう責任」に着目し、次世代へ受け継ぐために今ホテルができることを考え、サステナブルフーズの提供を行っています。

牛肉などに比べ生産時の環境負荷が少なく、環境問題の改善にも効果的と言われる「大豆ミート」。こちら大豆ミートを使用して、新たな食生活の選択肢の一つとして、当ホテルのレストランにて「大豆ミートハンバーグのロコモコ丼」、「大豆ミートのパスタ・ボロネーゼ」、「大豆ミートピザ」を販売しています。

【スライド10枚目】 4分48秒～5分27秒

こちらのスライドは、本年7月～10月にかけて新たに実施した活動であり、今回の受賞の評価対象ではございませんが、この場で御紹介します。

客室フロアリニューアルにあたり、サステナブルな改装を実施し、部屋の中にあるテーブルや椅子、ナイトスタンドなどのまだ使用できる家具は廃棄せず、修繕を施して再生利用することで環境に配慮した改装を行いました。

【スライド11枚目】 5分27秒～6分20秒

この他、SDGsの取組として、「ペットボトルの消費削減」と「地下水の利用」を行っています。

当ホテルでは、全社員に「京セラ製マイボトル」を無償で提供しました。

こちらのサイズのボトルです。

館内の従業員食堂には、何時でも自由に湯茶（ゆちゃ）や冷水を汲める備品を設置して、マイボトルが活用できるようにしました。

そのほか、お客様の熱中症予防ため、ロビーに「冷水器」を設けて、当ホテルが地下から汲み上げた「京の地下水」をお飲みいただけるようにしました。

このような活動を通じて、ペットボトル消費削減への取組を行っています。

【スライド12枚目】 6分20秒～7分20秒

当ホテルでは、ホテル周辺に下鴨神社、京都御所などの地下とも同じ水脈で結ばれた「良質の地下水脈」があり、この豊かな地下水脈から天然水を汲み上げ、客室やレストランなど、館内全館で使用しています。

また、ホテル敷地内に水栓を2ヶ所設け、地域の皆さまへ24時間何時でも自由にこの地下水を汲めるよう無償提供しています。

加えて、この井戸は京都市「災害時協力井戸」制度にも登録され、大地震等、有事の際には、地域住民に「命の水」を供給する使命も担っています。

このような活動を通して、資源の有効活用にも取り組んでいます。

【スライド13枚目】 7分20秒～8分01秒

地域とのつながりに関する取組についてです。

祇園祭の山鉾町に隣接するホテルとして、祇園祭への参加協力を積極的に行っています。

ホテルスタッフによる保昌山の粽やお護り作りのお手伝いのほか、お稚児さんが切る注連縄の奉納場所の御提供、また、巡行当日には保昌山のメンバーとして山鉾巡行へ参加するなど、伝統文化の継承に努め、地域と共栄できるようにお付き合いをさせていただいています。

【スライド14枚目】 8分01秒～8分33秒

また、当ホテルは、創業当初から日々の周辺清掃や、ボランティア清掃活動に積極的に参加しています。

「我が町のホテル」として喜んで御利用いただけるように、地域や社会に貢献することが大きな責務として捉えております。

ホテル日航プリンセス京都は、これからもホテル事業を通じて、各種活動や取組を強化させ、地域への貢献、持続可能な社会の創造に貢献してまいります。

【スライド15枚目】 8分33秒～8分36秒

以上で発表を終わります。御清聴ありがとうございました。